

(半田市)

市町村の 基本情報	学校数	小学校 14 校、中学校 6 校		
	地域学校協働活動推進員等の配置状況	統括的な地域学校協働活動推進員		0 人
		地域学校協働活動推進員		25 人
	CS 及び地域学校協働本部設置状況	統括コーディネーター		0 人
		地域コーディネーター		0 人
	CS 及び地域学校協働本部設置状況	CS を導入している学校数	小 13 校	中 5 校
地域学校協働本部がカバーしている学校数		小 0 校	中 0 校	



(活動の実際)

《亀崎小学校学校運営協議会連絡会》

亀崎小学校では毎年、3年生の総合的な学習の時間の一環として、世界に誇る地元亀崎の祭「潮干祭」について学ぶ機会がある。学校運営協議会として、潮干祭保存会の方をゲストティーチャーとして紹介し、令和5年度には、児童に「潮干祭のすごいところ」と題して話をしていただいた。児童も興味津々の様子で話に聞き入っており、地域に対する誇りを高めることができた。

《令和6年度の取組例》

亀崎地域では、亀崎地区伝統芸能の後継者育成という課題があり、学校では、児童がお囃子を「やってみたい」と希望していた。学校運営協議会として、児童が地域の伝統芸能に関心があるものの、関わる機会に恵まれないことは課題であると捉え、この課題を解決するために、地域の方と協働して小学校に伝統芸能継承クラブを立ち上げ、地域の方に指導を担ってもらう事業（継続）を実施した。

この事業は、亀崎地区伝統芸能を「やってみたい」という子供の思いを学校で叶えることができるとともに、伝統芸能の担い手を継続的に育成することにつながる取組となった。

(◎成果と●課題)

◎昨年度、連絡会で各学校の取組に関する情報交換ができたことで、学校と地域が協働した取組に対する理解が深まり、市のコミュニティ・スクール推進事業補助金を活用して、学校と地域の協働事業に関わる備品等の整備が進んだ。

●推進員や学校応援団といった地域の方々の高齢化が進み、若い世代の関わりや担い手不足が長年の課題となっており、解決できないままとなっている。

(関係者の声)

- ・ 人事で学校関係者が異動していく中、地域学校協働活動推進員は継続の方が多くことから、その地域のことを教えてもらうことができ、ありがたい。(学校関係者)
- ・ 各校において、その地域の特性を生かした様々な活動が展開されている。興味深いものもあり、他校の活動を見学できる機会があるとよい。(地域学校協働活動推進員)